

『目に見える重機接触防止対策を!』

建設機械災害防止は『効果のある作業計画』と『目に見える立入禁止措置』の実施で!

規則では例外として誘導者の合図により運転を行う場合に限り作業者の立入を認めています。『可動範囲立入禁止』が不可能なのに、画一的に立入禁止措置としている例が多くあります。車両系建設機械の作業範囲は走行も加えると無限大であり、漠然とした「立入禁止」は「危ない所には行くな」と大差はなく、「大丈夫だろう」との思い込みから重大な災害が発生しています。災害防止には、機械に接近する必要性・可能性を明らかにし、場面に応じた対策をたて、関係者に周知する必要があります。そのうえで、これを補完するための教育・ルール作り・設備の実施などを行う必要があります。



夏の交通安全標語

(交通安全標語の優秀作品の発表です。)

- とまれるか 今の速度と 車間距離
- 急発進 急ブレーキ急ハンドルは
アイ、サンキュー(三急)
- 安全運転 ハットしたヒヤットした
その瞬間を教訓に
- デイライト 明るい未来をてらしましょう
- 車間距離OK シットベルトOK 心のゆとりOK
- 無事故、無違反、一年一年の つみ重ね

熱中症を防ごう。

寒かった昨年と異なり今年は大変暑く、夜になっても気温が下がらず、寝苦しい日が続いています。先日、駐車中の車の中で意識を失っているのが見つかり、間もなく**熱中症で死亡する**事例が発生しています。六十代以上の人は暑さや渇きに鈍くなり、熱中症にかかりやすくなります。また、若い人でも不摂生な生活や肥満などにより熱中症にかかる人が増加しています。倒れたり、気分が悪くなった人には脇や頭部を濡れたタオルで冷やし、速やかに病院へ連れて行って下さい。熱中症の予防対策としては水分・塩分をこまめに取る、適度に休憩を取ることが良いそうです。